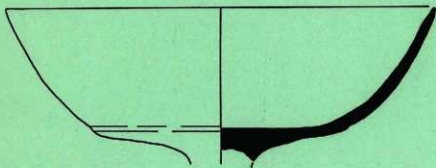


平方壺丁田遺跡の調査

—宅地造成工事に先立つ遺跡確認調査—



1999年5月

太子町教育委員会

例言

1. 本書は、兵庫県揖保郡太子町佐用岡字寺垣内 550-2 番地における造成工事に先立つ遺跡確認調査の概要報告書である。
2. 調査は、平成10年8月10日～8月11日にかけて実施したものである。
3. 調査は、揖保郡太子町教育委員会が主体となり、同社会教育課三村修次、海野浩幸が担当した。
4. 調査に当たっては、田中建設株式会社、太子町シルバー人材センターの協力を得た。
5. 基準点測量は、喜多村測量株式会社に委託した。
6. 整理に当たっては、井上道子、岩村千穂、改発法子、中村豊子、藤井昭子の協力を得た。
7. 遺物観察表の番号は遺物実測図と、同じく実測番号は出土遺物台帳と一致する。また色調は、日本色研事業株式会社発行の『新版標準土色帳 1992年度版』による。
8. 本書の執筆・編集は、三村修次、海野浩幸が行なった。

本文目次

例言

調査に至る経過	1
調査の概要	1
まとめ	3

挿図目次

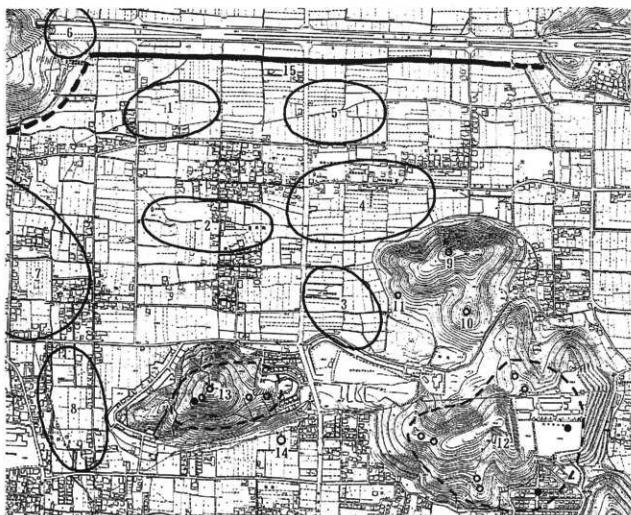
第1図 周辺遺跡分布図	1	第4図 トレンチ実測図	2
第2図 調査位置図	1	第5図 T-2 住居址出土遺物実測図	3
第3図 トレンチ設定図	1		

表目次

表1 遺物観察表	3
----------------	---

図版目次

図版 上 調査地全景	
中 T-2	
下 T-2 遺物出土状況	



第1図 周辺遺跡分布図 (1:10,000)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 平方老丁田遺跡 | 2. 平方宮ノ本遺跡 | 3. 南柳遺跡 |
| 4. 平方遺跡 | 5. 平方高田遺跡 | 6. 坊主山遺跡 |
| 7. 城山遺跡 | 8. 助久五反畑遺跡 | 9. 松田山古墳 |
| 10. 坊主山古墳 | 11. 柳山古墳 | 12. 丹生山古墳群 |
| 13. 東保山古墳群 | 14. キツネ岩遺跡 | 15. 筑紫大道跡 |

平方老丁田遺跡の調査

1. 遺跡の所在地
兵庫県揖保郡太子町佐用岡字寺垣内 550-2 番地
2. 調査機関
兵庫県揖保郡太子町教育委員会
3. 調査担当者
太子町教育委員会社会教育課
三村修次 海野浩幸
4. 調査期間
平成10年8月10日～8月11日
5. 調査面積
28㎡
6. 記録作成
遺構平面実測図 (1/20)、土層断面実測図 (1/20)
平板測量図 (1/100)、遺物実測図 (1/1)、写真記録 (約35mm)、国土座標記録



第2図 調査地位置図
(国土地理院「龍野」1:25,000)

7. 調査に至る経過

太子町佐用岡字寺垣内 550-2 番地において宅地開発に伴う造成工事が行なわれることになり、工事予定地は周知の遺跡である平方老丁田遺跡の南に隣接することから、同遺跡の広がりを把握することを目的に確認調査を実施することにした。

調査地は、標高 15.60 m 前後を測る水田で、現状は休耕田である。

8. 調査の概要

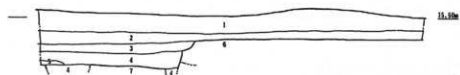
調査は 2 × 3 m のトレンチを 4 箇所設定して実施した。各トレンチとも耕土、黄色客土で褐色砂質土あるいは褐色砂礫の地山に至る。

遺構は T-2 で竪穴式住居址、T-4 で柱穴 2 を検出した。竪穴式住居址は全体を調査することができなかったが、方形プランを呈するものと考えられ、検出面からの深さは 30 cm を測る。北壁面に接して焼土面が検出され、竈と考えられる。遺物は、北壁面の焼土周辺の床面で土師器の高坏・小壺が、埋土中から土師器の甕が出土した。

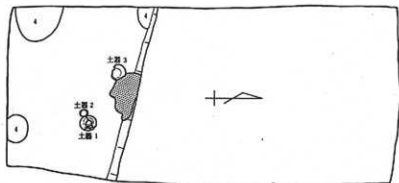
高坏はいずれも脚部を打ち欠き、坏口縁部を上にした状態で検出された。



第3図 トレンチ設定図 (1:2,000)

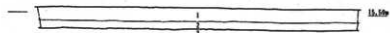


- 1 耕土
- 2 黄色客土
- 3 明灰色土
- 4 暗褐色土
- 5 焼土
- 6 褐色砂質土・地山
- 7 黄色礫混じり土・地山

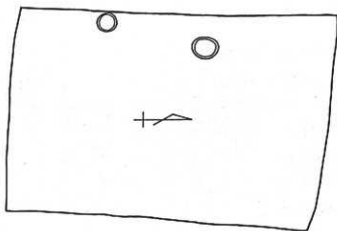


■ = 焼土

T-2



- 1 耕土
- 2 黄色客土
- 3 褐色砂質土・地山

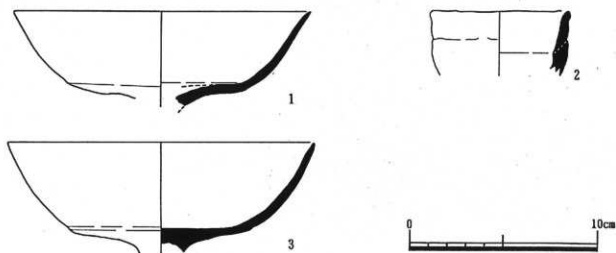


T-4

第4図 トレンチ実測図

9. 出土遺物

遺物はT-2から出土しただけで、サヌカイト製石鏃2と、住居址内からの土師器（高坏・手捏小壺・甕）がある。土師器はいずれも6世紀初頭の時期のものと考えられる。



第5図 T-2住居址出土遺物実測図

№	実測番号	器種	法量 (cm)	調整	色調	胎土	備考
1	9802-1-1	土師器 高坏	口径 16.2	ナデ	橙色 5YR6/6 ～鈍い橙色 7.5YR7/4	砂粒を含む	土器1 外面に黒炭あり 脚柱部を打ち欠く
2	9802-1-2	土師器 手捏小壺	口径 7.4	ナデ 粘土線痕	外～鈍い黄褐色 10YR7.3 内～鈍い黄褐色 10YR7.4	微砂粒を含む	土器2
3	9802-1-3	土師器 高坏	口径 16.8	ナデ	外～橙色 7.5YR7/6 ～鈍黄褐色 7.5YR8/4 内～灰色 N4	細砂粒をわずかに含む	土器3 脚柱部を打ち欠く

表1 遺物観察表

10. まとめ

限られた範囲での調査であったが、古墳時代の住居址を検出したことにより、調査地点まで平方壱丁田遺跡の範囲が及んでいることが確認された。



調査前全景
(北から)



T-2
(南から)



T-2
遺物出土状況
(南から)

報告書抄録

ふりがな	ひらかたいっちょうだいせき							
書名	平方窓丁田道跡の調査							
副書名	造成工事に先立つ道跡確認調査							
巻次								
シリーズ名	太子町文化財資料							
シリーズ番号	第58集							
編著者名	三村修次 海野浩幸							
編集機関	太子町教育委員会							
所在地	〒671-1561 揖保郡太子町鵜 1369-1 TEL. 0792-77-1010							
発行年月日	西暦 1999年5月31日							
ふりがな 所収道跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ***	東経 ***	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	道跡番号					
ひらかたいっちょうだいせき 平方窓丁田道跡	ひらかたいっちょうだいせき 揖保郡太子町佐用岡 ぼでまの 字寺垣内	284645	450023	34度 50分 30秒	134度 35分 1秒	1998.8.10~ 1998.8.11	28m ²	造成工事
所収道跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
平方窓丁田道跡	集落	弥生・古墳	竪穴式住居、柱穴		サヌカイト製石蔵 土師器(高坏・小壺・甕)			

